

② 次の文章をよく読んで、あとの問いに答えなさい。

① 私たちは、毎日いろいろな種類の野菜を食べています。野菜は植物ですから、根や葉、茎、花、実などの器官からできています。例えば、キヤベツやレタスなら葉の部分を食べていますし、トマトやナスなら実の部分を食べています。

② では、ダイコンはどの器官を食べているのでしょうか。漢字で「大根」と書くくらいですから、根のように思うかもしれませんが、そんなに単純ではありません。

③ ダイコンの芽であるカイワレダイコンを見ながら考えてみましょう。カイワレダイコンは、双葉と根、その間に伸びた胚軸とよばれる茎から成り立っています。根の部分には、種から長く伸びた主根と、主根から生えている細いひげのような側根があります。私たちが食べるダイコンをよく見てみると、下の方に細かい側根が付いたり、側根の付いていた跡に穴が空いていたりします。ダイコンの下の方は主根が太ってできているのです。いっぽう、ダイコンの上の方を見ると、側根がなく、すべすべしています。この上の部分は、根ではなく胚軸が太ったものです。つまり、ダイコンの場合、上の部分と下の部分とで違う器官を食べているのです。

④ 器官が違うことで、じつは味も違ってきます。なぜ違ってくるのでしょうか。

⑤ 胚軸の部分は水分が多く、甘いのが特徴です。胚軸は、根で吸収した水分を地上の茎や葉に送り、葉で作られた糖分などの栄養分を根に送る役割をしているからです。

⑥ いっぽう、根の部分は辛いのが特徴です。ダイコンは下にいくほど辛

味が増していきます。ダイコンのいちばん上の部分と、いちばん下の部分を比較すると、下のほうが十倍も辛味成分が多いのです。ここには、**植物の知恵**ともいえる理由が隠されています。

⑦ 根には、葉で作られた栄養分が豊富に運ばれてきます。これは、いずれ花を咲かす時期に使う大切な栄養分なので、土の中の虫に食べられるは困ります。そこで、虫の害から身を守るため、辛味成分を蓄えているのです。ダイコンの辛味成分は、普段は細胞の中にありますが、虫にかじられて細胞が破壊されると、化学反応を起こして、辛味を發揮するよ

うな仕組みになっています。そのため、たくさんの細胞が壊れるほど辛味が増すことになります。

⑧ これらの特徴を活用して調理すると、ダイコンのさまざまな味を引き出すことができます。例えば、大根下ろしを作るときに、辛いのが好きな人は下の部分が向いていますし、辛いのが苦手な人は上の部分を使うと辛味の少ない大根下ろしを作ることができます。また、ダイコンを力強く直線的に下ろすと、細胞が破壊されて、より辛味が増します。逆に、円を描くようにやさしく下ろせば、破壊される細胞が少なくなり、辛味がおさえられるのです。

⑨ 普段何気なく食べているダイコンも、植物として観察してみると興味深い発見があります。他の野菜はどうでしょうか。いろいろと調べてみると、これまで気づかなかった野菜の新しい魅力が見えてくるかもしれません。

(稲垣栄洋「ダイコンは大きな根?」より)

光村図書版「国語1」40～43ページ

問1 この文章で、問題提起をしている段落を二つあげ、それぞれの問題の答えを示している段落を、段落番号で答えなさい。【各3点】

問題提起1 (2) 答え (3)

問題提起2 (4) 答え (5)(7)

問2 線(1)「植物の知恵」とは、ここではどういうことを言っているか。説明しなさい。【7点】

ダイコンが根に運んだ栄養分を虫の害から身を守るように、辛味成分を蓄えて、虫の害から身を守る。根の部分に多くの辛味成分を蓄えていること。

問3 線(2)「普段何気なく食べているダイコンも、植物として観察してみると興味深い発見があります。」とありますが、ダイコンについてどのような発見がありましたか。文章中の言葉を使って説明しなさい。

上の部分と下の部分と味が違うのか、その理由を知ると、その発見は、上の部分が水分が多く、甘いのが特徴で、胚軸は、根で吸収した水分を地上の茎や葉に送り、葉で作られた糖分などの栄養分を根に送る役割をしているから。下の部分は水分が多く、甘いのが特徴で、胚軸は、根で吸収した水分を地上の茎や葉に送り、葉で作られた糖分などの栄養分を根に送る役割をしているから。

中1 5月

氏名

68点

この単元の学習を振り返り、理解を深めたり、今後の学習に生かせるような考え方を丁寧にコメント。

先生から今回はこの説明的文章について学習しましたが、内容はまあ把握できたよ。すね。答え方でも減点あり残念。ある事件についてテレビやニュース番組から得た情報と、その事件のすべてを思いこんでたところ、新聞や雑誌を読んで、え、この事件にはこんな側面があったの。と気がつくことがあります。また、以前にもういっただけのこと、人の意外な一面に気づくことばかり。見方が変わったというところもあります。このように、日常生活の中で、ちよと立ち止まり見方を変えてみると、新しく発見できることたくさんある。小野寺先生が見ました。機会があったら生かしてくださいね。